

日中友好新聞

府連通信

2013年8月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0012
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
<http://www005.jp>
pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/

アピールの賛同署名にご協力を 話し合い通じて尖閣問題の解決を

尖閣列島問題の平和的解決へ ちは野蛮人ではありません」

呼びかけ人としてジェームス三

今橋巳佐子さん、

木山や山田洋次さんなど十名が「非核の政府を求める大阪の会」アピールを発表し、日中友好協会大阪府連もこの賛同署名に取り組んでいます。

早速、賛同署名へのひとこと

メッセージが寄せられてきました。一部ご紹介します。

「平和友好条約の条項に基づき、日中両国が平和的解決を目指し、直ちに話し合いを始めることを願っています」原水爆禁止大阪府協議会理事長・岩田幸雄さん

「二日も早い平和的解決を期待します」弁護士・元参議院議員 橋本敦さん

「世界に誇れる憲法九条を今こそ生かし、四〇年積み重ねてきた日中関係のさらなる発展と尖閣問題の平和的早期解決を願います」関西合同法律事務所

「相互理解・相互信頼・相互依存」日中友好協会大阪府連顧問・藤後博巳さん

「話し合いこれこそ人類に与えられた問題解決の方法です。私た

東大阪戦争展に 漫画展コーナー

東大阪・平和のための戦争展が7月27

28日の両日市民会館で開かれました。「中

国からの引き揚げ」少年たちの記憶」漫画展も二階にコーナーを設けて全作品が展示されました。

一言メッセージをそえて大阪府連までお寄せ下さい。

団体・個人を問わずぜひご協力下さい。この賛同署名は全国的に取り組んでいます。第一

締め切りは九月末です。

西谷文和さんとアフガニスタンの留学生と



戦前の遺品展示には日中友好協会所蔵の「防毒マスク」など多数が展示されました。日中友好協会・東大阪支部も実行委員会の一員として参加しました。

の対談は、平和への願いを講演と映像で紡ぐ「アフガニスタンそしてシリアで何があったのか？」映像報告と現地青年の体験から学ぶ」です。日本のNGOの一員として活動していた時、タリバンに命を狙われ国外に脱出、現在は同志社大学で学んでいるアフガンの青年との対談です。アフガンの現地の生々しい報告が印象に残りました。

十月に日中友好平和の旅 南京・揚州・鎮江・上海へ

十月十一日、十五日、「南京・揚州・鎮江・上海」平和の旅を企画しました。

南京虐殺を否定する反動的な動きのあるなかで、記念館を訪れ、中国国民への残虐行為の事実を、現地で学ぶことは重要です。今回は鑑真和尚ゆかりの揚

州にも行きます。ぜひ多くの方が、参加されますようお願い申し上げます。

八月末申し込み締め切りです。



鑑真で有名な大明寺

「南京・揚州・鎮江・上海」平和の旅
 10/11(金)関空7:45集合ANA・NH155便
 上海から新幹線で南京へ、市内観光
 10/12(土)南京視察・抗日戦争博物館など
 10/13(日)大虐殺記念館見学後揚州へ
 10/14(月)大明寺見学後鎮江から上海へ
 10/15(火)魯迅公園など市内観光
 18:20ANA・NH155便で関空へ
 旅行代金/10名以上
 会員価格108,800円
 一般価格118,800円
 燃油サーチャージ・諸税は約17,500円
 現地ではスルーガイドが案内します。

秋の中国語講座へどうぞ

中国語教室はグランフロント北館東側に移転しました、ヨドバシカメラ北側、東洋ビル本館205・305号室です。親切丁寧な授業が特徴です。途中入学もOKです。
 10/7~3/24 週一回・2時間授業・20回
 初心者から上級まで20数クラス有ります
 入学金：18,000円、受講料：48,000円

8月6日夕方、九条商店街で、不再戦・平和と日中友好を訴えました。



8月4日府連新事務所開きに、兵庫・和歌山・滋賀からもかけつけてくれました。茶屋町での30年を振り返り、なつかしい顔ぶれで懇談しました。



質問に答えるシリーズ 貧困克服のための中国の一貫した努力 山本恒人

世界の中の中国ー 人間開発指数からみる 経済成長と貧困

国連は第二次大戦後の発展途上国の経済発展の教訓から、経済開発・経済成長が進めば貧困は自動的に解決されるのではないのではなく、貧困の克服のためには、そのための独自の努力が不可欠であるとの結論に達し、1960年代に「社会開発」という新しい考え方を示しました。その中には、医療・衛生・保健、教育、住宅、社会保障、環境などが含まれています。(中国はこの視点の大切にして、各種経済統計と並んで、社会発展に関する各種統計を公表しています)。その後、この「社会開発」という概念をもとに、「国連開発計画」(UNDP)という国連機関のもとに、現在では「人間開発指数」という考え方が定着し、毎年発表されています。

「人間開発指数(HDI: Human Development Index)」は、各国

ます。2012年度では、世界トップはノルウェー(0.985)、アメリカは三位(0.937)、日本は十位(0.912)、韓国12位(0.909)、イギリス28位(0.875)と続き、クロアチア47位(0.805)までが「最高位国」。「高位国」にロシア55位(0.788)、キューバ59位(0.780)、マレーシア64位(0.769)、ベネズエラ71位(0.749)、ブラジル85位(0.730)が含まれます。

中国は「中位国(0.55~0.7)の上位」で101位、「人間開発指数」は0.699です。「低位国」は142位のコンゴ(0.34)から186位のニジェール(0.304)まで、多数をアフリカ・サハラ以南諸国で占めています*。

* 国連開発計画「人間開発報告書2013」サイトから

中国の後発地域も指数が上昇

このように見ると、「経済大国中国は人間開発中位国上レベルに止まっているのか」という感想もあるかと思われませんが、それはあくまで平均値であって、やや古くなりませんが、中国国内の各省の「人間開発指数」が明らかかな資料によれば、1980年代初頭

に半分近い省が「下位」に分類されていたのに対し、2002年では「下位」分類の省はゼロ、「中位の下」が貴州・チベットの二地域のみです。中国は極度の貧困を克服しながら、全体として底上げを図ってきた姿が示されています。大半の省が今や「中位の上」に属し、上海・北京・天津・浙江・遼寧・広東・江蘇の六地域は「最高位もしくは高位」に分類されています*。

以上から言えることは、改革・開放以前の中国がいかに貧困に覆われていたか、改革・開放後いかに貧困克服のためになされている努力が大きいのか、そして中国は今もなお、世界の中位上にあつて貧困克服の課題達成の途上にあるということとです。*左図参照

貧困に克服するシリーズは、二つのパネルディスカッション「中国はどこへ・日中関係のゆくえー政治・外交・経済徹底解剖」の質問に三回に分けて、山本恒人副会長が連載します。次回も、中国の貧困克服プロジェクトです。

中国各地域の人間開発指数(HDI)分類

HDI	1982年	1990年	2000年	2002年
上			上海・北京・天津	上海・北京・天津 浙江・遼寧・広東 江蘇
中の上	上海・北京	上海・北京・天津 遼寧・広東・浙江 江蘇・黒龍江 吉林・山西・海南 山東	広東・遼寧・浙江 江蘇・福建・黒龍江 山東・河北・吉林 海南・山西・新疆 湖北・河南・重慶 湖南・陝西・広西 内モンゴ・安徽・江西 四川・寧夏	黒龍江・福建・吉林 山東・河北・海南 新疆・湖北・山西 湖南・重慶・河南 内モンゴ・江西・広西 陝西・四川・安徽 寧夏・青海・甘肅 雲南
中の下	天津・遼寧・黒龍江 広東・吉林・山西 河北・江蘇・浙江 広西・山東・湖南 湖北・内モンゴ	河北・福建・新疆 広西・湖北・内モンゴ 湖南・河南・陝西 四川・寧夏・江西南 安徽・甘肅 雲南 貴州	雲南・甘肅・青海 貴州・チベット	貴州・チベット
下	河南・江西・福建 陝西・新疆・寧夏 四川・安徽・甘肅 青海・雲南 チベット	チベット		

原出所: China Human Development Report

HDI: 平均寿命指数 + 教育指数(成年識字率・総就学率) + GDP指数 (PPP基準の一人当たりGDP)

出所: 胡鞍鋼「成長方式の転換を目指す第11次五カ年計画」日本経済研究センター・清華大学国情研究センター「中国の改革-持続可能な成長を目指して」日本経済新聞社、2006年、p.34